

一枚のビラから ～ 現場から発信することば～

「ビラが、ぼくの名刺」と言う松野哲二さんのバッグには、いつもビラや通信、リーフレットや新聞の切り抜きなどがあふれている。

初めてビラを手にしたのは中学生の時、全国学力テストに反対するビラだったそうだ。以来、ベトナム反戦のビラをつくった高校時代、さらに「活動家」にひそむ権威主義を批判した大学時代のビラ、そのあとも三里塚闘争、職場でのいじめ問題、朝鮮学校の子どもたちへの暴言や暴力、東日本大震災の被災地支援、コロナ禍の困りごと相談会など、さまざまな問題や社会矛盾にであうたび、松野さんはその現場から、自分のことばを発信してきた。

「ビラ」に託して、松野さんは、なにを発信しつづけてきたのか。実現できたことや、できないていることは、なにか。当日は、講演や松野さんとの対話を通して、共有したいと思います。

ぜひ、ご参加ください。

講師：松野哲二さん

(チマ・チョゴリ友の会代表/
府中緊急派遣村共同代表)



要申込み
先着75人
参加費
500円
(会員無料)

2022年 **6月5日** (日) 午後**1時30分**～**4時30分** (開室1時)

会場：たましん RISURU ホール (立川市民会館) 5階 第1会議室
(立川駅南口歩12分・西国立駅歩8分、裏面に地図)

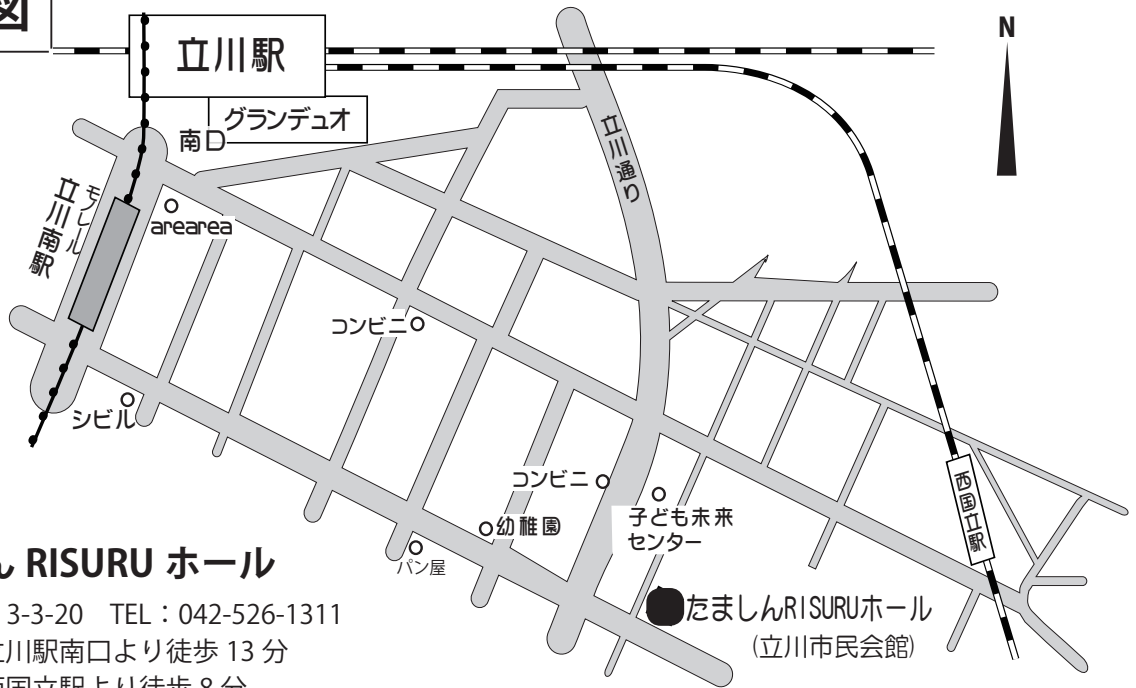
主催・申込み先：ネットワーク・市民アーカイブ

tel: **042-540-1663** (2022年3月9日まで)

tel&fax: **042-396-2430** (2022年3月10日から)

E-mail: info@archive-tama.sakura.ne.jp <http://www.c-archive.jp/>

会場案内図



たましん RISURU ホール

立川市錦町 3-3-20 TEL : 042-526-1311

JR 中央線立川駅南口より徒歩 13 分

JR 南武線西国立駅より徒歩 8 分。

多摩モノレール立川南駅より、徒歩 12 分。

講師：松野哲二さん

1949 年、浅草に生まれる。三社祭の神輿渡御には、現在も欠かさず駆けつける。1973 年に東芝府中工場に入社。その後、職場新聞『労働者の声』を発信していたことから、「東芝府中・上野仁さん人権裁判」の支援にかかわる。その後、府中地域で他の市民とともに「学校と職場のいじめホットライン」を開設。現在は、チマ・チョゴリ友の会と府中緊急派遣村の活動を続けている。

市民活動資料室「市民アーカイブ多摩」のご案内

- ・開館日：毎週水曜日、第 2・4 土曜日（年末年始と 8 月中旬は休館）
- ・開館時間：午後 1 時～4 時 ・入館カンパ：100 円～
- ・所在地：東京都立川市幸町 5-9 6-7（多摩モノレール、西武線「玉川上水駅」南口徒歩 8 分）
- ・電話 & fax：042-536-5535（開館中のみ）
- ・見られる資料：市民活動団体や個人が発行しているミニコミ（通信や会報など）1800 タイトルほか
- ・ホームページにミニコミのタイトル、発行団体を掲載。http://www.c-archive.jp/
- ・運営：ネットワーク・市民アーカイブ